

MedTech Innovator Discovery Program

アカデミア発メドテックイノベーター発掘プログラム2024
Premium Networking Day

LINK-Jの
アカデミア
ネットワーク

LINK-J



LINK-Jの
VC・アクセラレーター
ネットワーク

10.19 土



LINK-J アカデミア発メドテックイノベーター発掘プログラム

Premium Networking Day

日時：2024年10月19日（土）13:00-17:00（12:45 開場）

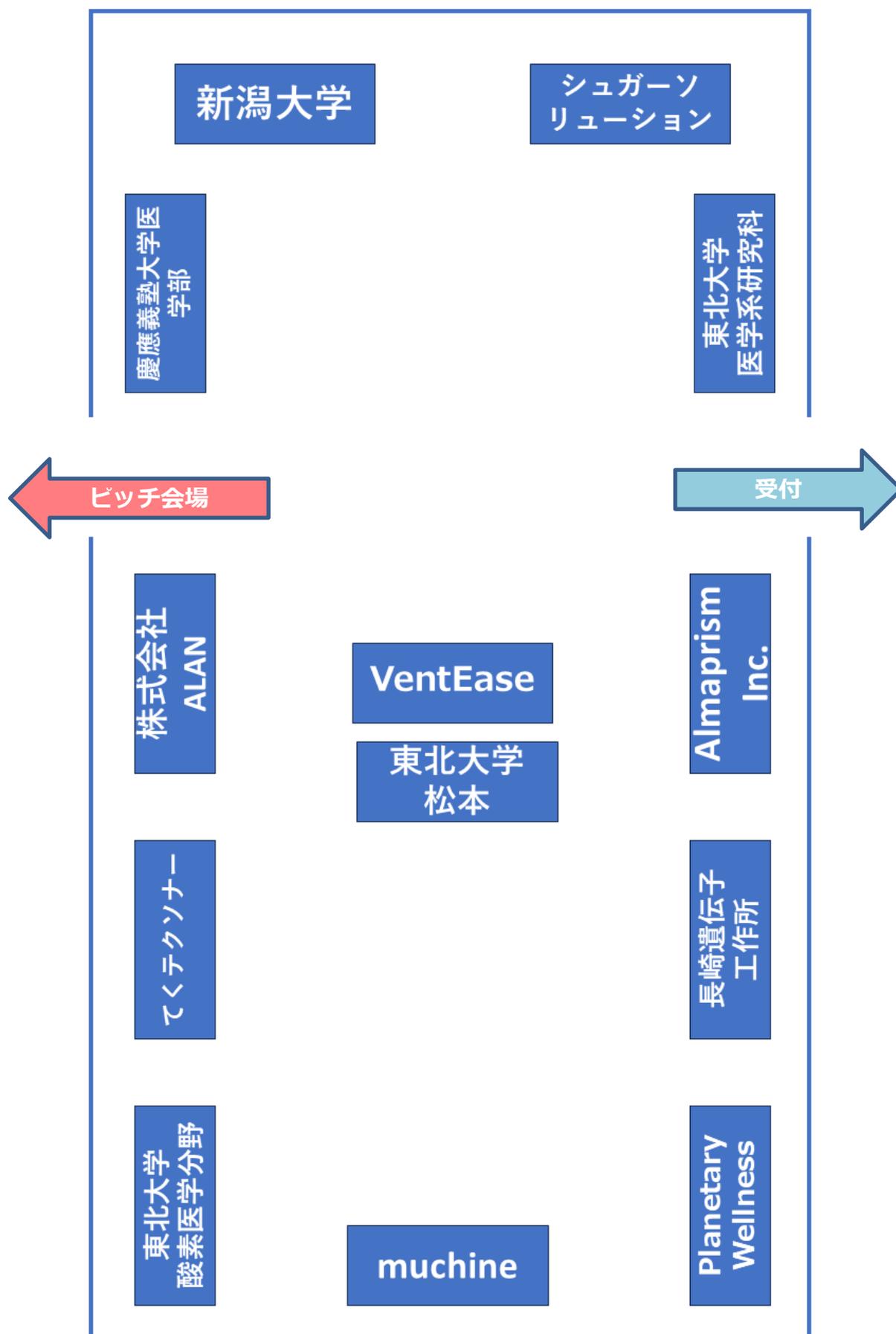
会場：日本橋ライフサイエンスハブ

住所：東京都中央区日本橋室町 1-5-5 室町ちばぎん三井ビルディング 8 階（COREDO 室町 3）

当日プログラム

時間	内容
13:00-13:10	開会挨拶
13:10-13:25	講演 昨年度優勝チーム 金田 恵理 (大阪大学 Cool Flash)
13:30-15:00	ライトニングピッチ (5分×15チーム) 新潟大学 シュガーソリューション 東北大学 医学系研究科 Almaprism Inc. 長崎遺伝子研究所 株式会社 Planetary Wellness muchine 東北大学酸素医学分野 てくテクソナー 株式会社 ALAN 慶應義塾大学医学部 VentEase 株式会社 東北大学 松本
15:00-15:30	審査+休憩 (ポスター展示)
15:30-16:00	審査員による座談会
16:00	結果発表、講評、今後の案内
16:15-17:00	ネットワーキング

展示ブース案内図

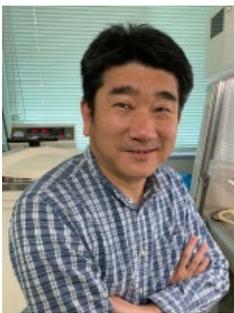


書類審査員

<p>(株)東京大学エッジキャピタルパートナーズ 取締役・パートナー LINK-J サポーター</p>	<p>宇佐美 篤 氏</p>	
<p>(株) サナメディ 代表取締役 CEO、LINK-J サポーター</p>	<p>内田 毅彦 氏</p>	
<p>MedVenture Partners(株) 代表取締役社長 LINK-J サポーター</p>	<p>大下 創 氏 ※欠席。書類審査のみ</p>	
<p>Beyond Next Ventures(株) プリンシパル</p>	<p>澤邊 岳彦 氏</p>	
<p>(株)INDEE Japan 代表取締役 テクニカルディレクター、 LINK-J サポーター</p>	<p>津田 真吾 氏</p>	
<p>東京大学医学部附属病院 バイオデザイン部門 部門長、プレ モパートナー株式会社 共同創業者&取締役 CSO</p>	<p>前田 祐二郎 氏</p>	
<p>LINK-J 常務理事、 東北大学特任教授、</p>	<p>曾山 明彦</p>	

登壇企業詳細

	<p>新潟大学推薦 新潟大学 杉江 淳 「Variant of Uncertain Significance (VUS)」と呼ばれる疾患との関連が不明な遺伝子変異を解消するためのサービスを提供する。</p>
	<p>新潟大学推薦 シュガーソリューション 長束 俊治 糖鎖の受託解析とデータベース支援型糖鎖シーケンサーの開発</p>
	<p>東北大学推薦 東北大学 医学系研究科 前川 素子 脂質関連物質に着目した 自閉症診断補助キットの開発及び事業化の検証</p>
	<p>京都大学推薦 Almaprism Inc. 糟野 新一 ビデオゲームの行動データを通して子どもの認知機能を多角的に測定することで ADHD 治療を行うプログラム医療機器を開発・販売する</p>

	<p>長崎大学推薦 長崎遺伝子研究所 久保 嘉直 Ebibody 甲殻類抗体様蛋白質 Dscam を用いた診断薬・治療薬の開発</p>
	<p>京都大学推薦 株式会社 Planetary Wellness 西村 勉 我々が取り組む社会課題は孤独である。孤独は、鬱病や自殺等、多くの疾患のリスク要因となっている。自然言語処理 AI を用いた孤独感推定技術で早期発見、早期介入によりその解決に挑む。さらに、気象要因、宇宙環境要因、大気汚染物質を用いた独自の心身の状態予測技術と組み合わせることで、孤独感、幸福度、病気の発症のしやすさをマップ上に可視化し、見えないもの見える化し、様々な社会課題を解決することで、世界のぜんたい幸福を目指す。</p>
	<p>東京科学大学推薦 muchine 河村 峻太郎 SMA や ALS といった神経疾患によって筋萎縮を持つ方の自宅介護を行う上で、介護者は疾患を持った当事者をベッドから車椅子へ移動させるなどの移乗の研修を、当事者の体を用いて行っている。本事業では、当事者の身体カインेटクスを模した移乗練習用ダミーを提供することで、当事者本人の体を使用しない移乗研修を実現し、当事者と介助者の身体的・精神的負担の軽減および、研修の失敗による介護ミスマッチの防止を目指す。</p>
	<p>東北大学推薦 東北大学酸素医学分野 中井 琢 Hypox House 持久系アスリートを対象とした低酸素室宿泊サービス</p>
	<p>産業技術総合研究所推薦 てくテクソナー 疋島 啓吾 超音波による脳機能イメージング技術を用いた乳幼児の早期検査、モニタリング機器の開発</p>

	<p>慶應義塾大学推薦 慶應義塾大学医学部 杉田 洋平 認知症 / うつを音響 AI で即時検知するサービスの開発/販売</p>
	<p>大阪大学(ジャパンバイオデザイン大阪)推薦 VentEase 株式会社 篠倉 啓純 集中治療室で原疾患の治療に伴い人工呼吸器を使用するが、約 4.5 万人は 5 日以上の使用となり、原疾患の回復後も人工呼吸器が外せなくなる患者が一定数存在する。中には数か月の入院や肺炎の発症、最悪の場合、死に至る者もいる。我々はそういった患者を救い、医療者の負担を減らす、革新的な治療デバイスの開発を行っている。</p>
	<p>東北大学推薦 松本 拓朗 東北大学眼科では眼科診療に欠かせない細隙灯顕微鏡を AI 技術を用いて検査から診断まで自動化したデバイスを開発した。このデバイスは、非眼科医や医療スタッフでも簡単な検査で眼科疾患のスクリーニングができるため、医療過疎地域や高齢者施設での眼科診療を効果的に支援することが可能である。訪問診療を行う医師が利用可能で、異常が検出されればオンラインで眼科医に相談する仕組みも併せて提供する。また、宮城県を中心に東北の訪問医療をリードする、医療法人社団やまととの連携により、非眼科医による訪問診療での導入を進めるとともに、仙台市に設立する訪問オンライン眼科クリニックと高齢者施設や訪問看護をつなぐことで眼科医が直接オンライン診療を実施する。この仕組みにより、地域医療の格差を解消し、患者の移動負担を軽減しつつ、質の高い眼科診療を全国および海外に提供していく。</p>